

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 85

2015年1月20日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。<http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>からもご覧頂けます。

★今月の「みんなのコラム」は、木村浩之先生です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 静岡大学インキュベーション施設の入居者募集案内
2. 「ふじのくに総合食品開発展2015」に出展します
3. 第2回HEPTコンソーシアムフォーラムのお知らせ
4. 静岡大学・中日新聞連載講座「浜松発！未来の社会」ご案内
5. 「静岡県テクノフェアin東京2015」に出展します
6. 「産学官マッチング会 in 浜松」ご案内
7. 「産学官マッチング会 in 静岡（第2回）」ご案内
8. 浜松RAIN房講演会「植物って、すごい！」ご案内
9. nano tech 2015（第14回国際ナノテクノロジー総合展）に出展します
10. 「コーディネーターエコシステム(CES)・東海イノベーションネットワーク(東海iNET)研修会」ご案内

※問合せ先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。メール送信の際は[at]を@に変更してください。

-
1. 静岡大学インキュベーション施設の入居者募集案内
http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/inno_event001995.html

静岡大学イノベーション社会連携推進機構では、静岡大学発ベンチャー企業の育成と支援、大学シーズの活用を希望する地域企業とのマッチング支援等を行っております。

そうした中、静大発のベンチャー企業の育成支援の一環として、浜松キャンパス（静岡県浜松市中区城北3-5-1）に所属する教員の研究シーズを活用した事業化や教員の研究シーズを利用した地域企業や学生等による事業化準備を対象としたインキュベーションルームの2015年度入居申込み受付を開始しましたので、ご案内します。

募集するインキュベーションルームには、40平米の実験室タイプ9室と、21平米のオフィスタイプ5室があります。

原則として利用期間は1年間ですが、起業化計画の進捗度に応じて最大で3年間の継続利用も可能です。

インキュベーションルームの使用料は、原則『無料』です。
(水道光熱費・通信費については実費ご負担いただきます)

イノベーション社会連携推進機構産学連携推進部門では、インキュベーション施設の入居者に対して事業化に向けたビジネスプランのブラッシュアップ、資金計画、販路開拓等について積極的にバックアップさせていただきますので、ご希望の方はお気軽にお問い合わせください。

詳細（募集要項と申請書）

http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/inno_event001995.html

提出期限 2015年1月31日（土）

※現在入居中の方も、入居3年未満であれば来年度の継続利用申し込みができますが、その場合も利用申請書は提出していただきます。

問合せ 静岡大学イノベーション社会連携推進機構
産学連携推進部門 部門長 教授 林正浩
コーディネーター 鈴木俊充
TEL 053-478-1713 E-mail collabo[at]cjr.shizuoka.ac.jp

2. 「ふじのくに総合食品開発展2015」に出展します

本展示会は、静岡県産の農林水産物や加工食品の販路開拓や生産者と加工業者、食品機械メーカーなどのマッチングを進めることによって、6次産業化の推進を進めています。

静岡大学との産学連携をご検討の皆さまは、ぜひこの機会に静大ブースにお立ち寄りください。コーディネーターがサポートいたします。

【日時】 2015年1月21日(水) 10:00~17:00

【会場】 静岡県コンベンションアーツセンター

グランシップ 1階大ホール「海」

【静大ブース】

番号 U-2

担当 イノベーション社会連携推進機構 コーディネーター 橋詰俊彦

【大学研究成果発表】

「ミカンのβ-クリプトキサンチンの高含有化」

静岡大学大学院 農学研究科 教授 加藤 雅也

【静岡大学の問合せ先】

イノベーション社会連携推進機構 静岡オフィス

TEL 054-238-4630

3. 第2回HEPTコンソーシアムフォーラムのお知らせ

組込みソフトウェア技術コンソーシアム(HEPTコンソーシアム)は、地域産業の組み込み開発技術の向上に寄与することを目的として、2013年1月29日に設立いたしました。従来からの「組込みシステムアーキテクト養成プログラム」、「Cプログラミングコース」、「組込みソフトウェア技術研究会」などの活動に加えて、本年度は静岡情報産業協会(SIIA)と協力して「Javaプログラミング研修会」などの新たな活動も手がけることができました。

皆様から多数のご参加を頂きまして、たいへん活発な活動となっております。

このたびHEPTコンソーシアム設立2周年を記念し、第2回HEPTコンソーシアムフォーラムを開催いたします。本フォーラムでは、発展する組込みシステム技術の今後と将来への対応を考えながら、HEPTコンソーシアムの取組みがどのように地域製造業の高度化を担う皆様のお役に立っているかを一緒に考えていただく機会といたしたく存じます。

【日時】 2015年1月28日(水) 15:00~18:00 (開場:14:30)

【場所】 プレスタワー17F 静岡新聞ホール

【主催】 浜松市

組込みソフトウェア技術コンソーシアム

国立大学法人静岡大学

公益財団法人浜松科学技術研究振興会

【後援(予定)】 関東経済産業局

しずだい産学連携メールマガジンVol185
中部経済産業局
浜松商工会議所
公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構
浜松信用金庫
磐田信用金庫

【ご案内Webページ】 <http://architect.inf.shizuoka.ac.jp/hept/forum/2ndforum>

〔基調講演〕

「ボーカロイドの過去・現在・未来：初音ミクを支える技術とソフトウェア環境」
ヤマハ株式会社 事業開発部 yamaha+推進室 VOCALOIDプロジェクト
プロジェクトリーダー 剣持秀紀 氏

〔講演〕

「企業における組込みシステムアーキテクト養成プログラムの効果」
ローランド ディー・ジー株式会社 R&D本部研究部研究グループ 小林光一 氏
株式会社ユニバンス 商品開発部 制御設計グループ 今村泰己 氏
株式会社エヌエスティー システム開発部 ソフトウェア開発室 第3グループ
サブリーダー 上村哲生 氏

※ 交流会（18:30～20:30 銀座ライオンに移動し実施いたします）

参加費：無料（ただし交流会費 4,000 円）

お申込み締切日：1月21日（水）

お申込み方法：以下のURLより、フォーラム／交流会の参加をお申込み下さい。

フォーラム参加申し込みページ（Google Formを利用しています）

<http://goo.gl/forms/mQXntXmnj8>

4. 静岡大学・中日新聞連載講座「浜松発！未来の社会」ご案内

【日時】 第5回：2015年2月14日（土）14:00～16:00

【会場】 静岡大学浜松キャンパス 工学部5号館システム工学科棟2階21教室
（浜松市中区城北3-5-1）

【主催】 国立大学法人静岡大学、中日新聞東海本社

【テーマ】

第5回「光でがんを勝つ ～低侵襲がん光治療～」

大学院工学研究科 化学バイオ工学専攻 准教授 平川 和貴

【参加費】 無料

【定員】 100名

【詳細】 <http://Lc.shizuoka.ac.jp/>

【問合先】 静岡大学イノベーション社会連携推進機構 連携講座係

TEL 054-238-4817 FAX 054-238-4295

E-mail [LLC\[at\]ipc.shizuoka.ac.jp](mailto:LLC[at]ipc.shizuoka.ac.jp)

【申込先】 ウェブサイト <http://Lc.shizuoka.ac.jp/>

FAX 054-238-4295

メール [LLC\[at\]entry.Lc.shizuoka.ac.jp](mailto:LLC[at]entry.Lc.shizuoka.ac.jp)

葉書 〒422-8529

静岡市駿河区大谷836

5. 「静岡県テクノフェアin東京2015」に出展します

「静岡県テクノフェア in 東京2015」は、静岡県内中小企業が保有する
ページ(3)

しずだい産学連携メールマガジンVol185

“ものづくりに関する加工技術、自社製品を一堂に集めた展示会”であり、新規取引先開拓を目的として開催されます。

大規模展示会には出展していない小規模企業で、特色のある技術を有している企業も多く出展しておりますので、パートナー探しの場としてご来場いただければ幸いです。

今回、静岡大学からは静岡大学発ベンチャー企業5社をブースにて紹介します。ぜひ静岡大学のブースにお立ち寄りください。

【日時】 2015年2月25日（水）10：00～17：00

2015年2月26日（木）10：00～16：00

【会場】 大田区産業プラザPiO

1F大展示ホール

【静大ブース】

番号 J-1

【紹介ベンチャー企業】

①SAW&SPR-Tech(有)

「材料表面撥水性評価装置、SAW（弾性表面波）デバイスの溶液評価装置、SAWアクチュエータデバイス等の開発」

②(株)ブルックマンテクノロジー

「超高感度イメージセンサ、超高速イメージセンサ、各種カスタムCMOSイメージセンサの開発」

③(株)ITSC/静岡学術出版

「出版事業部：高品質・低価格な自費出版
IT・ISMS事業部：大学・研究機関等のクラウド導入支援」

④(株)Eu-BS（ユービス）

「白金ナノ粒子を含む溶液の研究開発・製造販売」

⑤(株)静岡アグリビジネス研究所

「農産物（トマト）の生産と販売・栽培技術等の指導と共同開発」

【静大発ベンチャー単独ブース】

(株)ANSeeN

「Cdte・半導体検出器の設計・開発・販売」
ブース番号 I-1

【詳細】 <http://shizuoka-techno.jp/>

【静岡大学の問合せ先】

イノベーション社会連携推進機構

TEL 053-478-1713

6. 「産学官マッチング会 in 浜松」のご案内

【日時】 2015年2月20日（金）13:00～16:30

【会場】 アクトシティ浜松 コンgressセンター5階会議室
(浜松市中区板屋町111-1)

【主催】 静岡TTO、東海iNET、静岡県

【内容】

○産学官連携講演会

「下町ボブスレーの挑戦——その課題と展望」

株式会社ウィル 代表取締役 奥山 睦 氏

○産学官連携講演会

「山形大学の自慢できる産学連携事例の紹介」

山形大学国際事業化研究センター研究企画部門 コーディネーター 松崎 辰夫 氏

○シーズ発表

「コールドスプレー法による機能性材料の高速成膜」

豊橋技術科学大学 機械工学系 助教 山田 基宏 氏

「ウルトラハイテンの曲げ及びその解析」

静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター 材料科 上席研究員 長津 義之 氏

「高強度材料の超高サイクル疲労特性評価への超音波疲労試験法の応用」
静岡大学大学院工学研究科機械工学専攻 准教授 島村 佳伸 氏

○ポスター・名刺交換・交流タイム、個別相談

【参加費】 無料

【申込×切】 2月18日（水）

【詳細】 <http://stto.jp/images/article/hamamatsu150220.pdf>

【申込/問合せ先】

静岡大学イノベーション社会連携推進機構
TEL 053-478-1706 FAX 053-478-1711
E-mail match2014[at]cjr.shizuoka.ac.jp
静岡技術移転合同会社
TEL 053-415-9109

7. 「産学官マッチング会 in 静岡（第2回）」ご案内

【日時】 2015年3月11日（水） 13:00～16:30

【会場】 清水産業情報プラザ 3階研修室
（静岡市清水区相生町6番17号）

【主催】 静岡TTO、東海iNET、静岡県、静岡市

【内容】

○産学官連携講演会

「宇宙エレベーターの研究開発とその技術検証」

静岡大学大学院工学研究科機械工学専攻 教授 山極 芳樹 氏

○産学官連携講演会

「ものづくり企業の成長戦略」

静岡大学工学部 特任教授 中村 保 氏

○シーズ発表

「ダイカスト、樹脂射出成形用金型の高機能化の実現」

岐阜大学工学部機械工学科 准教授 新川 真人 氏

「計測分野に向けた高距離分解能Time-of-Flight型距離イメージセンサ」

静岡大学大学院工学研究科電気電子専攻 助教 安富 啓太 氏

「(三次元)樹脂積層造形システムのご紹介」

静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター 材料科 科長 伊藤 芳典 氏

○ポスター・名刺交換・交流タイム、個別相談

【参加費】 無料

【申込×切】 3月9日（月）

【詳細】 別途、静岡TTOのHP（<http://stto.jp/>）に掲載します

【申込/問合せ先】

静岡大学イノベーション社会連携推進機構
TEL 053-478-1706 FAX 053-478-1711
E-mail match2014[at]cjr.shizuoka.ac.jp
静岡技術移転合同会社
TEL 053-415-9109

8. 浜松RAIN房講演会「植物って、すごい！」ご案内

1月24日に、浜松RAIN房講演会「植物たちは、すごい！」が開催されます。
植物たちの生き方は、思いがけない知恵や工夫に満ちています。そんな植物たちの
生き方を学べば、まわりの植物たちがますます生き生きと、いとおしく感じられるで
しょう。

しずだい産学連携メールマガジンVol185

本講演は、身近な草花や樹木、野菜や果物たちを主役に、知っているようで知らない植物たちのふしぎな世界へのいざないです。

NHKラジオ「夏休み 子供科学電話相談」でもおなじみの田中 修先生が、わたしたち動物にはまねのできない、植物の“すごさ”を楽しく解説して下さいます。ぜひお越しください。

- 【内 容】「植物って、すごい」
講師：甲南大学工学部教授 田中 修 氏
- 【日 時】2015年1月24日（土）
14：00～15：30（13：30開場）
- 【会 場】静岡大学浜松キャンパス 佐鳴会館会議室
（〒432-8561 浜松市中区城北3-5-1）
- 【対 象】小学生以上～一般
- 【聴講料】無料
- 【定 員】150名（先着順）
- 【主 催】浜松RAIN房、静岡大学教育学部附属浜松中学校 Top Gun
- 【申込・お問い合わせ先】浜松RAIN（レイン）房
TEL&FAX 053-478-1759
E-mail trainbow[at]ipc.shizuoka.ac.jp
URL http://train1.eng.shizuoka.ac.jp/

9. nano tech 2015（第14回国際ナノテクノロジー総合展）に出展します

知的クラスター創成事業研究成果の産学連携を目的として、静岡大学川田研究室のEXA顕微鏡（水中のナノ構造を動画観察できる電子線励起光学顕微鏡）を、ナノテク分野世界最大規模の展示会である「nano tech 2015」に出展いたします。

- 【日 時】2015年1月28日（水）～1月30日（金）10:00～17:00
- 【会 場】東京ビッグサイト（東京都江東区有明3-11-1） 6W-11ブース
- 【展示品】水中のナノ構造を動画観察できる電子線励起光学顕微鏡
（EXA顕微鏡）
- 【その他】浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーションの紹介も行ないます。
- 【詳 細】
http://nanotech2015.icsbizmatch.jp/Info/jp/ExhibitorDetail?val=GyCq6JS_i6k

- 【問合せ先】浜松地域イノベーション推進機構
イノベーション戦略推進本部
TEL 053-471-0777 コーディネーター 稲垣安則
静岡大学イノベーション社会連携推進機構 浜松オフィス
TEL 053-478-1706 コーディネーター 齊藤久男

10. 「コーディネーターエコシステム(CES)・東海イノベーションネットワーク(東海iNET)研修会」ご案内

今回東海イノベーションネットワークは、浜松・東三河地域イノベーション戦略推進協議会との共同主催で、特定非営利活動法人産学官連携学会の協力により、地域のコーディネーターをはじめとする産学官連携に携わるスタッフのネットワークの強化、資質向上のため、下記研修会を開催します。また、本研修会は、産学連携学会「認定講習会」を兼ねております。

産学官連携に携わる皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】 2015年2月2日(月) 13:30~18:00 (情報交換会 18:15~)

【場所】 グランドホテル浜松 2階 松山
(浜松市中区東伊場1-3-1)

【内容】

・第1講座

「中小企業と大学の産学連携の構造について」

講師 産学連携学会 会長 伊藤正実氏 (群馬 大学教授)

・第2講座

「事業化事例から見るコーディネーターの役割のポイント」

講師 産学連携学会 理事 安田耕平氏 (株)キャンパスクリエイト 代表取

締役)

・第3講座

「産学官連携に係る公的支援制度と申請における留意点」

講師 産学連携学会 理事 菊池博道氏 ((独)科学技術振興機構 調査

役)

・グループディスカッション

テーマ: 産学連携によるイノベーションの推進について~大学・公的機関の活

用~

【対象】 産学官連携に携わるコーディネーターと産学官金の各機関のご担当者

【参加費】 無料

* 情報交換会参加の場合は、別途参加費4,000円(情報交換会後浜松駅への送

迎あり)

【主催】 浜松・東三河地域イノベーション戦略推進協議会、東海iNET

【共催】 特定非営利活動法人産学連携学会

【問い合わせ先】

公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構 イノベーション戦略推進本部

担当 福島憲一

TEL 053-471-2111 FAX 053-471-2113

E-mail fukushima[at]haipro.jp

《 みんなのコラム -79- 》

記: 理学研究科地球科学専攻、創造科学技術大学院 准教授 木村浩之

2004年4月、私は静岡大学理学部地球科学科に赴任しました。それまでは、産業技術総合研究所でポスドクとして研究していました。産総研にて所属していたグループには優秀な研究者やポスドクが大勢おられ、非常に刺激的な研究環境でした。また、研究設備も充実しており、自由に好きな研究ができました。そのような折、地方の国立大学へ赴任したものですから、研究環境の違いに愕然としました。また、地方大学で何ができるのか、何を研究すべきか、かなり悩みました。そのような折に、研究対象として興味を抱いたのは“付加体”でした。付加体とは、静岡県中西部から近畿、四国、九州、そして沖縄まで、西南日本の太平洋の沿岸域に広く分布する厚い堆積層を意味します。付加体は、海洋プレートが陸側プレートの下部に沈み込む際、海洋プレート上の海底堆積物が陸側プレートに付加し、その後、隆起してできた地層です。付加体には高濃度の有機物が含まれています。また、付加体の深部地下圏には嫌気性地下水と大量の天然ガス(メタン)が存在しています。

私の研究室では、付加体に構築された大深度掘削井(温泉施設が所有する深度500~2,000メートルの掘削井)にて深部地下水(温泉として利用されている)及び付随ガスを採取し、環境データ、各種イオン濃度、付随ガスの組成、水素・炭素安定同位体比を分析しています。加えて、深部地下水に含まれる微生物群集の顕微鏡観察、細胞の計数、嫌気培養、遺伝子

解析、補酵素の検出及び定量を試みています。そして、付加体の深部地下圏に存在するメタンの起源と付加体の地下圏微生物による炭素循環メカニズムを明らかにしようとしています。さらに、付加体の地下圏から深部地下水を揚水するための大深度掘削井と地下水からメタンを分離するためのメタン分離槽、地下水に含まれる微生物群集を利用してメタン及び水素ガスを生成するためのバイオリクター、ガスエンジン発電機、ガスタービン発電機、燃料電池を組み合わせ“自立分散型エネルギー生産システム”の開発にも取り組んでいます。

将来的には、静岡県内の掘削井を持つ温泉施設にて地下圏のメタンと地下圏微生物を利用したエネルギー生産システムを構築したいと考えています。また、付加体は西南日本の太平洋沿岸の地域に広く分布していますので、愛知、三重、和歌山、高知、宮崎、沖縄においても、同様の試みを実施したいと考えています。特に、海底ケーブルを使って電力供給を受けている沖縄の離島などでは、有効な発電システムになると期待しています。さらに、付加体は西南日本に特異的な地層というわけではなく、台湾やインドネシア、トルコ、イタリア、ペルー、チリ、ニュージーランド、米国アラスカ州・ワシントン州といった国や地域でも見ることができます。将来的には海外にてフィールド調査や大深度掘削を行い、付加体の地下圏微生物について基礎研究を行いたいと考えています。そして、静岡発のエネルギー生産技術を海外へ輸出したいとも考えています。

私が提唱していますこのエネルギー生産システムは、一般家庭約100~400世帯分の電力を供給できる小型発電所です。一方において、地下水・ガス・電気を自家的に供給できる“自立分散型エネルギー生産システム”でもあります。平常時は、一般家庭や学校、病院、役場、工場、農業施設、空港、街灯、主要道路のトンネルに電力・温水・温風を供給することを考えています。そして、巨大地震や大規模な洪水、大雪といった災害時には、避難所や病院、役場、空港、緊急道路のトンネル、自衛隊のベースキャンプ等にライフラインを確保する“災害時緊急ステーション”として利用することも可能です。もちろん、地震や津波、土砂崩れ、大雪等によって破損する発電施設があるかもしれません。しかし、数多くの小型発電所を分散させて設置することによって、災害時に孤立した地域でもライフラインを確保できると考えています。将来、災害時に人命救助活動や避難所生活を支援することができれば言うことありません。

<< 編集後記 >>

先月「静岡大学産学連携協力会 第30回会員企業交流会」が開催されました。協力会は、静岡大学の産学連携に関してサポートをしてくださる地元企業と静岡大学とをつなぐ役割をしています。今回は23社32名の企業関係者をはじめ本学教員など計53名が参加し、交流を楽しみました。

交流会では、「金属ナノ粒子のフェムト秒テクノロジーへの展開」と題しまして工学研究科の杉田篤史准教授が、そして「Liイオン二次電池材料の高性能化に向けた材料開発およびポストLiイオン二次電池の開発」と題しまして工学研究科の富田靖生准教授が研究紹介を致しました。

今年も地域の皆様のお役にたてるよう、先生方の研究内容を知っていただき、産学連携を推し進めてまいります。

また、同時に静岡大学博士キャリア開発支援事業としてポストドクターや博士課程学生のポスターセッションも催され、企業の皆様と参加各位との積極的な交流が図られました。

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・
配信中止のご連絡は、sangakukoho5[at]cjr.shizuoka.ac.jp まで
お願いします。(↑送付の際は[at]を@に変更してください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構

編集：谷口悠里

発行責任者：木村雅和

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1

TEL 053-478-1413

URL <http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

Copyright (c) 2008-2015

Organization for Innovation and Social Collaboration,

Shizuoka University. All rights reserved